令和　３年　１月２８ 日

広島市長　様

　　　　　　　　　　　　　　法 人 名　有限会社　もえぎ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者名　代表取締役　賀　来　興　治

以下のとおり報告します。

運営推進会議の開催状況について（報告）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業所名 | | | グループホーム　もえぎ  小規模多機能型居宅介護　もえぎ | | | | | | |
| 所在地 | | | 広島市安芸区船越南２丁目２０番１６号　（ＧＨもえぎ、小規模） | | | | | | |
| 担当者名・連絡先 | | | グループホーム管理者　福岡真由美 | | | | | TEL 082-821-2261 | |
| 従業者（グループホームもえぎ） | | | 従業者総数１8人（内訳：常勤１3人、非常勤5人）（令和3年1月１日現在） | | | | | | |
|  | うち夜勤の従業者 | | 1日当たり事業所全体の夜勤従業者数２人 | | | | | | |
| 従業者（小規模多機能型居宅介護もえぎ） | | | 従業者総数１6人（内訳：常勤８人、非常勤8人）（令和3年1月１日現在） | | | | | | |
|  | うち夜勤の従業者 | | 1日当たり事業所全体の夜勤従業者数１人、宿直１人（自宅待機） | | | | | | |
| 運営推進会議の開催日 | | | 令和3年1月２2日　（令和　２年度　第5回） | | | | | | |
| 運営推進会議の出席者 | | | 所属（団体等）名 | | | | 氏名 | | |
|  | | 利用者 | グループホームもえぎ　入居者  小規模多機能型居宅介護もえぎ　利用者 | | | | 入居者代表１名  利用者代表１名 | | |
| 利用者の家族 | グループホームもえぎ　入居者家族  小規模多機能型居宅介護　利用者家族 | | | | ＧＨ家族会副会長  小規模家族会会長 | | |
| 地域住民の代表者 | 住職  認知症の人と家族の会元世話人  生協ひろしま　コープ船越  船越町女性会 | | | | 店長  会長 | | |
| 地域包括支援センターの職員 | 船越・瀬野川地区 | | 地域包括  支援センター | | 広島市瀬野川・船越地区地域包括支援センター | | |
| 知見を有する者等 | グループホームあき・なごみの家 | | | | ホーム長 | | |
| 利用状況  グループホームもえぎ | | | 利用者総数１８人　（令和3年1月1日現在） | | | | | | |
| 要支援１：０人 | 要支援２：０人 | | 要介護１：３人 | | | 要介護２：２人 |
| 要介護３：3人 | 要介護４：4人 | | 要介護５：6人 | | | ― |
| 利用状況  小規模多機能型居宅介護もえぎ | | | 利用者総数２0人　（令和3年1月１日現在） | | | | | | |
| 要支援１：１人 | 要支援２：０人 | | 要介護１：11人 | | | 要介護２：1人 |
| 要介護３：7人 | 要介護４：0人 | | 要介護５：0人 | | |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 交流・行事等の実施状況  ①利用者の家族との交流内容  ②地域との交流内容  ③その他の事業　　など | （直近約2か月又は前回報告以降）  令和2年12月23日　クリスマス＆忘年会（グループホーム）  令和2年12月２4日・25日　クリスマス＆忘年会（小規模）  令和3年1月1日　元旦　書初め（グループホーム　小規模） |
| 苦情の状況 | （直近約2か月又は前回報告以降）  特になし |
| 事故の状況 | （直近約2か月又は前回報告以降）  後頭部打撲及び出血を伴う切り傷　小規模多機能型居宅介護　　連絡済 |
| その他の報告事項 | 身体拘束について（この２カ月間、身体拘束はありませんでした。） |
| 評価、要望・助言等 | 県内の新型コロナウイルス感染状況や感染拡大防止集中対策期間であり第５回　運営推進会議は、意見照会にて開催させて頂きました。その結果、構成員の皆様からの意見は下記の通りです。  ○グループホームもえぎの運営推進会議について  ・小規模多機能型居宅介護利用者家族様より  書面会議残念です。入所者の利用状況、日々の取り組み行事等の報告に感謝しています。  ・地域住民の代表者より  コロナで大変な時期ですが、事細やかに入居者の方と接しておられる様子が良くわかります。勉強させられます。大変ですがこれからもよろしくお願いします。  ・地域住民の代表者より  PDCAの企画立案実践に申し分ありません。  ・地域住民の代表者より  コロナ禍で大変な時に様々な工夫をこらして活動をされていると思います。  ・地域包括支援センターの方より  例年とは異なる状況下でも、ご利用者様やご家族が安心できるよう工夫されているのが伝わります。新型コロナウイルス感染対策を行いつつ、生活を守り支えておられる様子がよくわかりました。環境が変わると落ち着かれない方もいらっしゃるかもしれません。これまでの経験や知識が  ・知見を有する者より  コロナ禍で外出など地域交流や活動が難しい中、屋内での季節の催しなどを楽しく行っているのが良くわかりました。  ○小規模多機能型居宅介護もえぎ運営推進会議について  ・小規模多機能型居宅介護利用者家族様より  とにかく気軽に相談ができるのですごくすごく助かっています。特に送迎時の困り事は一日一日に苦痛を感じています。その中で職員さんには助けられています。感謝感謝です。  ・地域住民の代表者より  コロナで大変な時期ですが、事細やかに利用者の方と接しておられる様子が良くわかります。勉強させられます。大変ですがこれからもよろしくお願いします。  ・地域住民の代表者より  PDCAの企画立案実践に申し分ありません。  ・地域住民の代表者より  コロナ禍で大変な時に様々な工夫をこらして活動をされていると思います。  ・地域包括支援センターの方より  １ヶ月を超える連泊の方もおられ、対応策も大変かと思います。そんな中でも臨機応変に対応して下さり、ご利用者様のご家族や住まいの地域の方々から『安心した』等の声を包括にいただくことがあります。事業所内の研修も積極的に参加、取り組まれていること、普段のケア・支援に反映されていることが伝わります。  ・知見を有する者より  外部評価を職員と丁寧に話し合い意見を取り入れながら行っていること  職員の育成に力を入れ利用者の皆様、地域にも安心し頼られる施設が出来ていると参考にさせて頂いています。  ○その他  ・小規模多機能型居宅介護利用者家族様より  コロナの感染が心配です。  本人の下半身の衰え、歩行が一日一日心配になってきました。  今年は共に最後の年男年女です。もう少し頑張りますのでよろしくお願いします。  ・地域住民の代表者より  外部評価の資料に実現できなかった方が多かったが、やはりコロナで人と接することが難しい中で大変であろうと思う。シートに書き込むか利用者様の情報を聞く事。情報収集の為となると億劫になるので、楽しみながら出来る形（付箋に書いて職員だけが見る壁に貼るとかワークショップの様な会議をするなど）がいいのではないか？ |

※欄が不足する場合など必要に応じ別紙等を添付してください。